



西門前で、放水訓練をする消防隊員。防火水槽や鬼城山ビジターセンター側の池から数多くのホースをつなぎ放水した

鬼ノ城で消火と救助の訓練

文化財防火デーの訓練

文化財防火デー（1月26日）を前にした1月21日、鬼ノ城で消防訓練を実施しました。

訓練は、西門の北側で山林火災が発生し、ケガ人もいるとの想定。消防隊員は延焼を防ぐための放水訓練や、がけ下からのけが人救助などの訓練に取り組みました。文化財防火デーに関係した鬼ノ城での訓練は、今回が初めて。消防本部では、「万一に備え、現場を知ることは大切」と、訓練を総括しました。

鬼の世界を満喫

鬼が辻

総社の冬の風物詩となった鬼が辻が2月7日、カミガツジプラザで開かれました。

大人も子どもも鬼になって来場。鬼ぜんざいや鬼のめんくり玉（ドーナツ）の店をはじめ、長縄跳び、輪投げなどのゲームを楽しむ子ども鬼の歓声が会場に響いていました。陽気のもと、家族連れや友達同士約1000人がつかの間の鬼の世界を楽しんでいました。

Photo News



鬼とびという名の長縄跳びを楽しむ子どもたち

ミニフォト

ぴよっこで楽しく過ごす



おもちゃで遊ぶ子どもたち

1月10日、天満屋ハピータウンリブ総社店（同店が無償貸与）にプレオープン（毎週土曜日の午前中）したつどいの広場「ぴよっこ」。毎回、乳幼児連れの親子が買い物ついでに立ち寄り、おもちゃで遊ぶなどして楽しく過ごしています。

『おさんぎつね』をひもとく



語るなんばさんと森田さん

吉備野ものがたりが2月8日、吉備野工房ちみちで開かれました。なんばみちこさん（上原）の詩集『おさんぎつね』を、フリーアナウンサーの森田恵子さんが朗読。なんばさんが語る詩に込めた思いに、参加者は共感していました。

岡山方面のホームにエレベーター



新設されたエレベーター

JR総社駅の岡山方面行きホームへ降りるエレベーターが完成し、2月7日から使用を開始しました。事業費は約2700万円で、JR西日本と国が3分の1ずつ、県と市が6分の1ずつ負担。利用者の利便性向上のため整備されました。

消防団の活性化を目指し



講演する内野さん

消防団活性化講演会が1月18日、ウェルサンピア岡山で開かれました。元岡山県副知事の内野淳子さんが、地域に信頼される消防団である必要があると講演。参加した消防団員や消防職員ら約70人が熱心に聞き入っていました。

大阪富士工業がしゅん工



大阪富士工業の外観

市が中原地内に誘致した大阪富士工業株式会社（本社は尼崎市）のしゅん工式が1月30日行われ、関係者ら約50人が工場の完成を祝いました。昨年7月から約半年をかけ、工場を建設。1月7日に従業員60人体制で操業を始めました。

春からJR各駅に掲示



審査する総社南高生たち

岡山県立大学のデザイン学部3年生10人が1月28日、総社をPRする観光ポスター8点を提案。市や市観光協会関係者、総社南高校の生徒25人が審査しました。この審査で決定した1点が、県内のJRの各駅に掲示されます。

公園の名前について意見交換

常盤公園ワークショップ

防災公園として三輪地内で整備が進んでいる常盤公園のワークショップが2月7日、サンワーク総社で開かれました。

昨年行われた公園のデザインを考えるワークショップに引き続いて開催されたもので、地元住民ら約30人が参加。進行役は、岡山県立大学の熊澤・斎藤両講師です。これまでの経緯や今後の工事予定などの説明を聞いた後、参加者は、名前に入れる地名や、字のもつイメージ、個性などをポイントに、公園の名前について意見交換しました。

また、工事中の公園を視察し、非常用便槽を使った簡易トイレを見学しました。



公園の名前について、ワークショップで意見交換する参加者（写真上）。公園内で工事中の非常用便槽で、非常時の想定で設置された簡易トイレを見学する参加者（写真下）

子育て支援などの大会アピールを採択

総社市婦人大会

総社市婦人大会が1月24日、市民会館で開かれ、「自分らしく生きることのできる社会をめざそう」「子育て支援と子どもの見守りに努めよう」など5つの大会アピールを採択しました。

地域で活動している婦人会会員ら約1000人が参加。講演では、衆議院議員の猪口邦子さんが子育て支援について、安心して子どもを産める環境を整える必要性を説きました。その一つとして「地域の教育力を発揮して、子どもたちの放課後が有意義な時間となるように」と。猪口さんの話に、参加者は熱心に聞き入っていました。



講演する猪口邦子さん